



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：田中 隆義
幹事：加納 裕
クラブ委員長：梅村 昌孝
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1472回例会

～新世代のための月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年9月2日(木) 曇 第9回

司会：佐藤一郎会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

田中隆義会長

9月になりましたが、毎日暑い日が続いています。本日は「日焼け」の話をして、今年の夏は日焼けをして、ほとんど全身の皮膚が真っ赤になりヒューヒュー痛がって、私の皮膚科を受診する人が例年よりも多かったです。



紫外線は英語のultravioletからUVと略され、波長によりUVA、UVB、UVCの3種類に分けられます。400～315nmは長波長紫外線(UVA)、315～280nmは中波長紫外線(UVB)、280nm未満は短波長紫外線(UVC)に分けられます。地球の大気中のオゾン透過する間にUVCは取り除かれ、UVBとUVAが地上に到達します。

「日焼け」の現象にはサンバーン(sunburn)とサンターン(suntan)の2種類があります。サンバーンはUVBの照射により、2～6時間後に皮膚が赤くなり、更にひどいと水ぶくれ(水泡)となり「やけど」の症状になり、少し触っただけでも強い痛みを訴えます。サンターンはUVAが皮膚の色を決めるメラニン色素の生成を促進します。紫外線を浴びてから数日後に皮膚が黒くなります。このメラニン色素が増えるのは、メラニン色素を生成することで有害な紫外線が皮膚の中に侵入することを少しでも減らそうとする防御反応です。その結果として皮膚の色が黒くなるということです。

紫外線はビタミンDを作る働きがあり、昔は日光浴は有益とされてきましたが、現在は紫外線は有害でできるだけ当たらない方が良いとされています。長期間にわたり紫外線照射を受けると、シミ、しわなどの皮膚の老化を早め、さらに皮膚癌を誘発することがわかっています。昔の母子手帳には乳幼児に日光浴をする項目がありましたが、現在の母子手帳では削除されています。巷では「日焼けサロン」という商売があり、一部の若者に人気がありますが、皮膚科医から見ると将来皮膚癌になるためにお金を払っているとしたか考えられません。

皆さんも、ゴルフなどをするときには日焼けに十分注意してください。紫外線対策として①紫外線の強い時間帯を避ける。②日陰を利用する。③日傘を使う、帽子をかぶる。④衣服で覆う。⑤サンングラスをかける。⑥日焼け止めクリームを上手に使うなどがあります。

出席報告

亀井直人出席委員長

会員66名 出席49名 (出席計算人数53名)

出席率 81.7%

8月26日は補填により 87.9%

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

- ・本日は当番ではないのに卓話をさせられます。よろしく願い致します。野崎 洋二さん
- ・先週会員増強委員会を開催しました。委員会に出席していただいた皆様ありがとうございました。又、本日野崎さんと卓話をさせていただきます。高木 勝さん
- ・鈴木圓三さん先日は大変お世話になりました。関谷俊征さん昨日はありがとうございました。大嶽 達郎さん
- ・秋田大曲花火大会に行ってきました。100周年記念で特にすばらしい花火大会でした。本多 清治さん
- ・関谷さん昨日は大変ありがとうございました。鈴木 淑久さん
- ・先日岩田さんと田口さんに色々お世話になりました。長坂 邦雄さん
- ・暑い日が続きます。身体に気をつけて下さい。亀井 直人さん
- ・今月は誕生月です。年齢は忘れました。八木沢幹夫さん
- ・誕生日を元気にむかえました。岡本 忠史さん
- ・妻の誕生日に花をいただきありがとうございました。馬場 将嘉さん
- ・9月11日は妻の誕生日です。おめでとうございます。いつもありがとう。今後もよろしく。鶴田 浩さん

委員会・同好会報告

田中隆義会長

加納裕幹事に今月の7日から17日までの10日間、我々のクラブ代表としてウガンダへ行っていただくことになりました。ロータリー財団の「未来の夢計画」で、我々が作った小学校に教員の宿舎を建設するために、ウガンダのRCと提携することが目的です。



【加納裕幹事】

今月7日からウガンダ共和国へ行って参ります。先方はROTARY CLUB OF Muyengaという会員数66名のクラブです。クラブメンバーにはウガンダ最大の国立病院の理事長や、社会保険庁の高官、製薬会社の重役など有力者が多いようです。そして、今までに200万ドルほどの色々な事業をされてきているということで、今回私ども共同のプロジェクトを行うには良いRCではないかと思えます。ウガンダで共同事業の調印をしてくと同時に、学校の現状も視察してこようと思っています。昨日は地区財団委員長から「財団グローバル補助金初のプロジェクトとして頑張ってください」と激励のメールもいただきました。帰ってきましたらまたご報告をいたします。それでは行って参ります。

親睦活動委員会：入山治樹委員長

来週9月9日木曜日「大和屋」にて、親睦活動委員会と会場委員会の合同懇親会が開催されますので、関係各位の方は是非ご出席ください。

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回理事会を開催致します。
- ・次週9月9日(木)はガバナー補佐訪問です。13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にてガバナー補佐との第2回クラブアッセンブリーを開催致します。
- ・同じく次週9月9日(木)18時より「大和屋」にて親睦活動委員会と会場委員会の合同懇親会を開催致します。
- ・台北延平RCの会員名簿をメールボックスに配布致しました。

米山記念奨学会より感謝状贈呈

米山記念奨学会より入山治樹さん、鈴木健司さん、鶴田浩さん、梅村昌孝さんに感謝状が届き、田中隆義会長より授与されました。



に新入会員研修会が催されることになっております。そこで多くのRCの情報や知識を得ることによって皆さんのクラブライフは大きく変わっていくでしょう。そして新入会員の皆さんが2、3年後研修を積み立派に成長して委員会のリーダーとして活躍されますことを期待してやみません。また、先週の卓話でも言われていたように新入会員だけでなく一般のロータリアンも研修会には参加すべきであると思います。お互いに切磋琢磨しもっともっとロータリーを楽しんでいただけたらと思います。



会員増強委員会の役割は会員増強のための行動計画を立てそれを実施することです。RCが効果的に機能するためには会員が必要です。地域社会に奉仕し、R財団を支援しクラブレベルを超えてロータリーに奉仕できる指導者を育成するための力は、クラブの会員基盤の規模と強さに直接関係します。会員増強委員会の責務は①

①次年度のクラブ増強目標を達成できるよう委員会の目標を立てる
 ②クラブの長所と短所を知るためクラブの評価を行う
 ③クラブ広報委員会と協力して会員候補者と現会員のどちらにも魅力的なイメージを作る
 ④新会員並びに現会員の教育と研修を目的としたプログラムを立案するの4つです。また、会員増強の要素としては①新会員の勧誘②現会員の維持③新クラブの結成の3つがあります。1人でも多くの適格者にロータリーに入会したいという興味を与えるため、また会員の減少を防ぐため、クラブは次のことを行わなければなりません。①会員増強のための現行規定を十分かつ意図的に利用すること②潜在的な職業分類を探るために地域社会内の事業および専門職の業務を特定し、それに該当する資格ある候補者を探し出すこと③奉仕活動を常に地域社会にとって意義あるものにし、プロジェクトと奉仕活動について地域社会に効果的に知らしめること④奉仕活動を常に地域社会にとって意義あるものとし、会員の関心を絶えず引きつけるものとする
 ⑤個々の会員を効果的に参加させ、その関心を絶えず引きつけるようなクラブ活動を行うこと
 ⑥改善を要するプログラムと分野を特定するため、クラブの評価活動を定期的に行うこと
 ⑦各クラブは自己の会員傾向を調べ、満足すべき進展があるか否かを検討し、それによって健全な発展を遂げるための対策を講じる必要がある
 ⑧ガバナーその他の地区指導者はクラブに協力し、会員が増えない理由を取り上げ、可能な改善策を明確にするべきである
 ⑨瑕疵なき会員が新しい地域社会に移転することを考慮する際に、その会員のクラブは、新しい所在地域のクラブにその会員の移転に関する情報を提供すべきである。これらは皆様のお手元にあります「今さら人に聞けないわかりやすいロータリー」に書かれておりますので是非ご一読ください。次に最近の会員減少の問題点について述べさせていただきます。会員数減少の原因を分析すると、世界と日本全域の不況に伴う不安定・不透明な経済環境、高齢・病気・死亡、地方都市の過疎化、職務多忙、例会の時間帯、例会費が高い、ロータリーの情報不足、理解不足などがあります。特に入会3年未満の方はロータリーへの失望感による退会者が多いようです。第二の原因としては・円熟したロータリアンの熱意不足や会議の不足などがあります。

とにかく推薦者があれば私までお知らせ下さい。すぐ面談させていただきます。クラブ一丸となり、是非この田中・加納年度にガバナー賞をいただけるよう頑張りましょう。年度が終わるまでに70名まで持って行くことを目標としています。ご協力お願い致します。

9月誕生日おめでとう

- 高須 洋志さん 関谷 俊征さん 八木沢幹夫さん
 鈴木 淑久さん 近藤 雄亮さん 越原 一郎さん
 岡村 達人さん 小串 和夫さん 大嶽 達郎さん

卓話 野崎洋二長期ビジョン委員長 高木 勝会員増強委員長

会員増強及び維持について



会員増強はそれぞれのRCの活性化、クラブの活動を活発にする上で絶対に欠かせないことです。当クラブも創立以来30年間毎年、地区ガバナーから「増強、増強」という指導を受けて参りました。私ども名古屋瑞穂RCは30年前に34名のチャーターメンバーで発足し、創立16年目には105名にまでなりました。しかしながらその後は減少が続き、今日では66名となってしまいました。このような状況には当クラブだけではなく、日本中のRCが悩まされています。RIでは会員増強を進める上で色々規制が改められました。本来ならばクラブの会員は1業種1人ですが、その後クラブの規模によって同業種の会員も複数名認めるようになりました。また、区域限界についても拡大が図られました。しかし残念ながらそれ以降も会員増強は芳しくありません。この会員の減少問題については先週地区研修委員の鈴木孝則さんが詳しくお話をしてくださいました。退会者が多い原因は、今日の不況という社会情勢に起因していることは言うまでもありません。しかし昔から退会者はありました。その理由の多くが「仕事が忙しい」「クラブに魅力を感じない」「例会が楽しくない」というものです。ご承知の通りロータリアンは会社のトップでありますので皆さんそれぞれお忙しい方ばかりです。自分だけが忙しいわけではありません。自分より忙しい方が例会に出席し、ロータリーをエンジョイしてみえることを知るべきではないかと思ひます。次に「クラブに魅力がない」「例会が楽しくない」ということですが、各クラブではそれぞれが魅力あるクラブ作りに日々努力しており、理事・役員を中心に各委員会の皆さんで方針や計画を立て努力をし活動しております。特に当クラブは鈴木俊雄初代会長が「楽しく明るいクラブをつくらう」と宣言され、今日までその伝統は受け継がれているものと私は確信しております。RCのクラブライフというものは自分自身が作り上げていくもので人やクラブから与えられるものではありません。例えばロータリーの色々な催しに積極的に参加し多くの仲間と接すること、それが厚意と友情を深めると共に多くの情報を得ることになるのです。まずは自ら輪の中に飛び込んで行くということが大切ではないでしょうか。一方、クラブ側も色々と考えなければなりません。一番は新入会員の研修会の実施です。私どものクラブでは毎年行っておりますが、本年度も今月末

例会のご案内

- 今週の行事 9月9日(木)
ガバナー補佐訪問
- 次週の卓話 9月16日(木)
卓話講師：COP10支援実行委員会事務局次長 浅田孝男さん
テーマ：生物多様性とCOP10
- 次々週予定 9月23日(木)
法定休日により休会